



## 今月のシーニック・バイウェイ



### 道の駅「北浦」と隣接する「浜木綿村」(延岡市北浦町阿蘇)

道の駅北浦では毎年GW期間中に「こいのぼりフェスティバル」が開催され、遠くは北海道を始めとする多くの観光客で賑わっていました。

「浜木綿村」は、環境省選定の「日本の快水浴場百選」で九州唯一の“特選”に選ばれた「下阿蘇ビーチ」に隣接し、シーズン中には県内外より多くの観光客が訪れます。

## 地域資源（宝）の紹介コーナー



### 地域で活動する人



#### ◆森岡 道彦(モリオカ ミチヒコ)さん

～下入津かぼすヒラメ組合長～

かぼすヒラメの養殖を行っている森岡道彦さん。他地域のヒラメとの差別化を図り、独自のブランドを築き上げるためかぼすヒラメの養殖に組合として取組み2年の歳月を経て商品化に成功しました。

大分特産のかぼす果汁を練り込んだオリジナルのエサにより、肝は独特の臭みが抑えられエンガワは適度な脂肪分となり、さっぱりした味わいになります。



森岡 道彦さん

前職は、住宅会社で営業を担当していた森岡さん。前職で培った営業センスを活かしてかぼすヒラメの販売拡大に向けてTV番組にも出演し、営業や広報を積極的に行っています。

趣味は、大分トリニータの応援と舞台観劇だそうです。観劇は、秋から冬のお仕事に比較的余裕のある時期にミュージカル、宝塚観劇から歌舞伎まで幅広いジャンルに渡り楽しまれています。

今後の抱負:「かぼすヒラメの需要拡大を図り、事業を主要産業のひとつに育て上げ地元雇用の場を設けたい。そこで、地元の人たちに生き生きと働いてもらい地域を元気にしていきたい。」と、パワフルに語っていただきました。



### 自然・景観資源

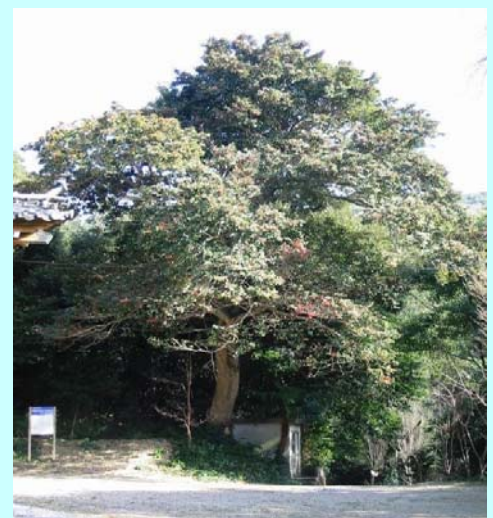


#### ◆早吸日女神社のクロガネモチ(佐伯市蒲江) 蒲江ICから車で20分

早吸日女(ハヤスヒメ)神社は、久安元年(キウアンガンネン)(1145年)の創建であり、「権現(ゴンゲン)さん」と呼ばれています。ご神体は、タコが抱いて海からあがったと伝えられ、三体の仏像であると言われています。境内に自生するクロガネモチは、神社の歴史の古さを語る巨木です。

クロガネモチは、モチノキ科の常緑高木で緩地の山中に自生する雌雄異株です。高さは10m以上にも達し、葉は互生となりなめらかで広楕円形をなし、長さ5～8cm、幅2.5～3.5cm、初夏に葉脈に長い花梗(カコウ)を出して淡黄色(タンオウショク)の小花をつけます。果実は、楕円形で直径5mmほど、冬季に朱赤色(シュセキショク)に熟して美しくなります。

(旧蒲江町教育委員会立て看板より)



クロガネモチ



## 歴史・文化資源



### ◆長瀬家の五輪塔群(佐伯市蒲江) 蒲江ICから車で15分

竹野浦河内の灘の長瀬家は、旧藩政時代からの旧家のように、同家には佐伯藩主から拝領したという火縄銃・火薬袋などがあります。

五輪塔群は、同家裏手の林の中にあるもので、室町時代末期から江戸時代にかけてのものでしょうか。いずれも材質は凝灰岩(キョウカカン)です。

五輪塔の構造形態は、下から方形の地輪、円形の水輪、三角形の火輪、半月形の風輪、団形の空輪からなります。塔全体が大日如来の抽象化されたものと言われています。

造塔の目的は、供養、墓標、舍利などいろいろありますが根本的には供養塔としての意義をもっているものです。



長瀬家の五輪塔群

(旧蒲江町教育委員会立て看板より)



## 食



### ◆北浦近海で水揚げされた「ブリ」(延岡市北浦町市振 古浦新港)

ゴールデンウィーク明け、北浦町の近海で捕れた約1500本のブリが古浦新港に水揚げされました。大敷網漁で水揚げされ、多くが首都圏に出荷されます。

冬に比べ、春のブリは脂が少ないとされていますが、せり前に試食をした人は「身が締まって匂と変わらず美味しい」と舌鼓を打っていました。



水揚げされたブリ



## お知らせ

### ◆道守意見交換会の開催

来る5月19日(金)に蒲江地区公民館にて「道守大分会議(蒲江地区)意見交換会」が開催されます。道守大分会議のメンバーである蒲江道づくりを考える女性の会の方々と行政関係者が道守活動やその他、道に関する意見交換を行います。



昨年の意見交換会

毎年開催しており、昨年は、「昔は自分の地区周辺の道路は自ら掃除することはあたりまえだった。」や、「東九州自動車道【佐伯IC～蒲江IC】の開通により、「IC付近の停車位置がわかりづらい。」等、女性ドライバーの視点からの活発な意見が出ました。

今年も女性の視点からの活発な意見交換会になることを期待しています。

## お知らせ

### ◆かまえインターパーク観光案内所”かまえコンシェル”復活

かまえインターパーク内にある観光案内所に案内係員「かまえコンシェル」が復活しました。5月1日から10時～15時の間常駐し、観光案内業務をしています。

多種多様のパンフレットや観光情報も用意しているので蒲江、広くは佐伯市を観光したい方は是非ご利用下さい。



かまえインターパーク観光案内所

【かまえインターパーク観光案内所 ☎0972-44-0770】

シーニック・バイウェイとは:

アメリカが発祥で景観のよい(シーニック)、寄り道(バイウェイ)と言う意味です。日本では、風景街道と訳され、道を通して地域活性化や観光振興に取り組んでいる138のルートがあり、九州には14のルートがあります。

本誌では、九州風景街道の一つ「日豊海岸シーニック・バイウェイ(蒲江・北浦大漁海道)」の活動や旬の地域資源等について、地域の皆さんや道路利用者の方々にご紹介するものです。

### ◆日豊海岸シーニック・バイウェイ(蒲江・北浦大漁海道)のホームページ◆

URL: <http://nippou-kaigan.kirara.st/>



旬の情報を毎月発信中 皆様からの情報提供をお待ちしております。

#### 問い合わせ先



### 日豊海岸シーニック・バイウェイ研究会

〒876-0848 大分県佐伯市城下東町8-19 (佐伯市観光協会内)  
tel 0972-23-1101 fax 0972-23-1146

(行政側問い合わせ先)

佐伯河川国道事務所 工務課  
tel 0972-22-1880 fax 0972-23-2726

延岡河川国道事務所 調査第二課  
tel 0982-31-1155 fax 0982-22-0489